



2014. 2. 3

vol.35

議会だより



寒さに負けないぞ!!

(朝日小学校)

おもな内容

- ☆定例会報告 2～3
- ☆しっかりチェック! (決算審議) 4～5
- ☆町政を問う (一般質問) 6～10
- ☆議員視察研修報告 11

- ☆議会の動き 12
- ☆広報委員のカメラアイ 13
- ☆がんばってます! 14

発行・越前町議会 発行責任者・議長 安井賢二 編集・議会広報特別委員会

〒916-0192 福井県丹生郡越前町西田中13-5-1

TEL (0778) 34-8712・(0778) 34-8726

メールアドレス: gikai@town.echizen.lg.jp

定例会報告

こんなことを議論しました

国保税、上下水道料値上げ

召集／12月18日 会期／3日間(18日～20日)

平成24年度各会計の決算を認定したほか、各会計補正予算、条例改正・廃止、人事案件など合計27議案を承認、可決しました。

また、議員発議で1件の意見書を提出しました。

国民健康保険条例改正

保険給付費等の増加に対応し、国保財政の健全化を図るため、国保税率が上がります。

議員からの質問

4月から消費税も上がり、町民の負担が大きくなる。このタ

イミングで上げなければいけないのか。

また、滞納額が増えている状況で、どう対応するのか。

町の答

ここ何年かは毎年議論していたが、国保基金の残があったので、判断が難しかった。

滞納に対しては、徴収強化を行い、低所得者への軽減措置の周知をしていく。

簡易水道給水条例・下水道条例・集落排水処理施設条例・上下水道事業条例改正

消費税率の引上げと各事業の経営の健全化のため、使用料を値上げします。

議員からの質問

国保税も上がる、上下水道料も上がる、消費税も上がるでは、町民の負担が大きくなる。今回は慎重に検討すべきでは。

町の答

前回19年度に値上げした後、22年度に上げる予定だった。財政も厳しく、経営の健全化を図る上でも、今回改正したい。

かれい崎荘条例の廃止

26年4月1日でかれい崎荘の営業を取りやめます。築41年が経過し、建物の老朽化、耐震基準に対応する改修に多額な費

用を要するため営業を終了します。

議員からの質問

これまで40年以上、町の観光振興に貢献があった建物。もう少し丁寧に町民や議会の意見を聞いて、慎重に検討すべき。

町の答

今回は、耐震の問題を重視し廃止を決めた。今後はそうに進めていく。

国民健康保険税改正

区 分		税率・税額	
		現 行	改 正
医療分 0～74歳	所得割	5%	5.7%
	資産割	22%	25.1%
	均等割	26,000円	28,000円
	平等割	23,000円	21,400円
介護分 40～64歳	所得割	0.7%	1.0%
	資産割	4.2%	5.1%
	均等割	5,700円	6,500円
	平等割	3,400円	3,600円
後期支援分 0～74歳	所得割	1.1%	1.2%
	資産割	6.0%	5.7%
	均等割	5,800円	5,800円
	平等割	5,600円	5,000円

上水道使用料料金改定

単位：円（消費税抜き）

区 分		現 行 (H19年度改正)	改 正 (H26年度)
基本料金 (10㎡まで)	一般用	1,200	1,300
	臨 時	2,400	2,600
超過料金 (1㎡につき)	一般用 11㎡～100㎡	125	130
	一般用 101㎡～	125	135
	臨 時	250	260
	船 舶	120	125
平均家庭の1ヶ月当たり使用料 (28㎡/月)		3,450	3,640

下水道使用料料金改定

単位：円（消費税抜き）

区 分		現 行 (H19年度改正)	改 正 (H26年度)
基本料金 (10㎡まで)	一般家庭等 (会社等含む)	1,200	1,300
	一般家庭等 11㎡～30㎡	125	130
超過料金 (1㎡につき)	一般家庭等 31㎡～50㎡	135	140
	一般家庭等 51㎡～100㎡	145	150
	一般家庭等 101㎡～	160	165
平均家庭の1ヶ月当たり使用料 (28㎡/月)		3,450	3,640

区 分	現 行 (H19年度改正)	改 正 (H26年度)
平均家庭の1ヶ月当たり使用料 (28㎡/月)	7,240 消費税5%込	7,860 消費税8%込

※平均家庭の上下水道使用料は改正後1ヶ月当たり620円高くなります。

平成25年12月定例会提出議案

全て可決

採決日：12月20日

■ 全会一致で可決・承認した議案

議 案 名	
報告第20号	専決処分の承認を求めることについて (平成25年度越前町一般会計補正予算(第8号))
議案第87号	平成24年度越前町一般会計歳入歳出決算認定について
議案第88号	平成24年度越前町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第89号	平成24年度越前町介護保険事業特別会計(保険事業勘定・介護サービス事業勘定)歳入歳出決算認定について
議案第90号	平成24年度越前町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第91号	平成24年度越前町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第92号	平成24年度越前町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第93号	平成24年度越前町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第94号	平成24年度越前町温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第95号	平成24年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第96号	平成24年度越前町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第97号	平成24年度越前町上水道事業会計決算認定について
議案第98号	平成24年度越前町国民健康保険病院事業会計決算認定について
議案第101号	越前町税条例の一部改正について
議案第102号	越前町国民健康保険税条例の一部改正について
議案第103号	越前町母子家庭等医療費の助成に関する条例及び越前町父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について
議案第104号	越前町道の駅条例の一部改正について

議 案 名	
議案第105号	越前町簡易水道給水条例の一部改正について
議案第106号	越前町下水道条例の一部改正について
議案第107号	越前町集落排水処理施設条例の一部改正について
議案第108号	越前町温泉条例の一部改正について
議案第109号	越前町上水道事業給水条例の一部改正について
議案第111号	平成25年度越前町一般会計補正予算(第9号)
議案第112号	平成25年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
議案第113号	平成25年度越前町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
議案第114号	平成25年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
議案第115号	平成25年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
議案第116号	平成25年度越前町集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
議案第117号	平成25年度越前町温泉事業特別会計補正予算(第1号)
議案第118号	平成25年度越前町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)
議案第119号	平成25年度越前町上水道事業会計補正予算(第3号)
議案第120号	訴えの提起について
議案第121号	越前町政治倫理審査会委員の任命について
議案第122号	越前町政治倫理審査会委員の任命について
議案第123号	越前町政治倫理審査会委員の任命について
議案第124号	越前町政治倫理審査会委員の任命について
議案第125号	越前町政治倫理審査会委員の任命について
議案第126号	越前町政治倫理審査会委員の任命について
陳情第2号	要支援者への予防給付(訪問介護・通所介護)を介護給付として継続することについての意見書提出に関する陳情
発議第2号	要支援者への予防給付(訪問介護・通所介護)を介護給付として継続することへの意見書の提出について

■ 賛否が分かれた議案 賛成：○ 反対：× ※議長は採決に加わりません。

議 案		議 員 名													
		田中	佐々木	齋藤	伊部	青柳	笠原	村上	木村	山野	北島	上坂	安井	山本	吉村
議案第110号	越前町国民宿舎かれい崎荘条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	一	○	×

意見書

賛成全員で可決

要支援者への予防給付
(訪問介護・通所介護)を
介護給付として継続する
ことへの意見書(要旨)

厚生労働省は社会保障審議会介護保険部会に「予防給付のうち市町村事業に移すのは訪問介護・通所介護のみとし、訪問看護や訪問リハビリなどは予防給付として継続すること」を提案しているが、訪問介護と通所介護は予防給付の約90%にあたり、要支援者を介護保険サービスから外す本質は変わっていない。

要支援1、2で現在介護予防給付を受けている高齢者は150万人以上であり、その中には多くの認知症の方も含んでいる。審議会での見直し案では、市町村事業にてボランティアやNPOを活用したサービスへの移行を提案しているが、高齢者の4人に1人は認知症といわれる現在、根治薬はなく、初期の専門的ケアで

重度化させないことが大切である。

認知症があっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けるため、また、介護保険制度が市町村の財政を圧迫しないよう、下記事項について強く要望する。

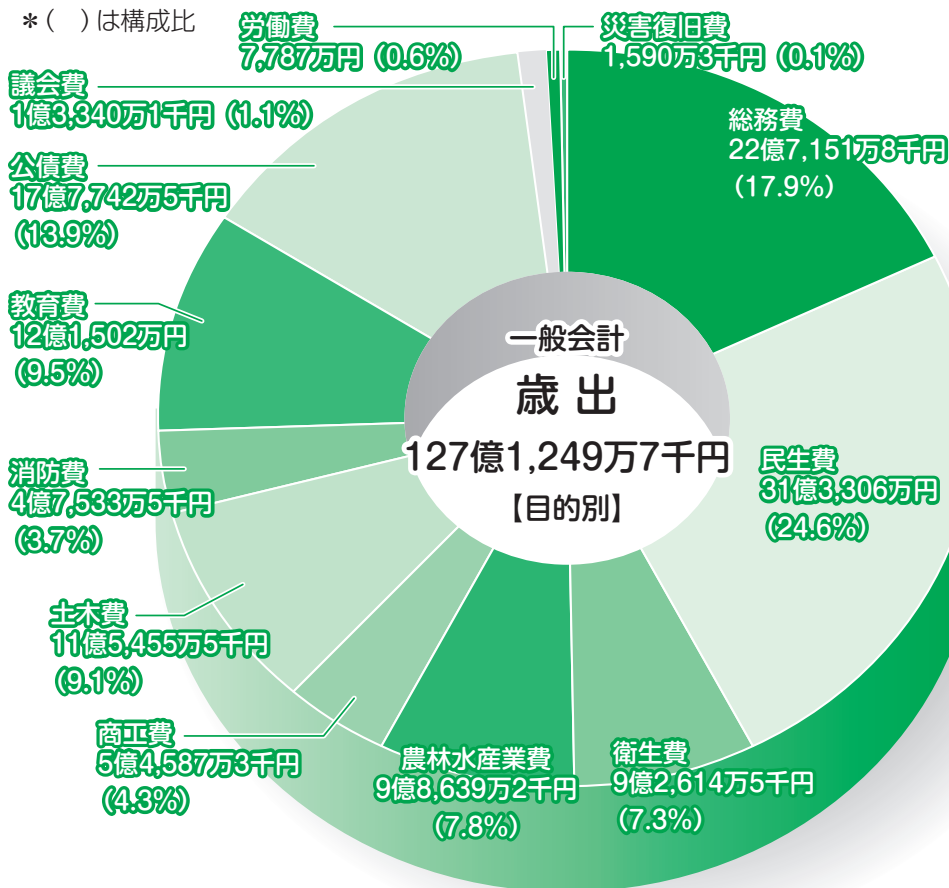
1. 要支援者への予防給付(訪問介護・通所介護)を介護給付として継続すること
2. 介護サービス利用者の負担を増やさないこと
3. 介護保険財政に国が責任を持つこと

提出先
内閣総理大臣・厚生労働大臣・衆議院議長・参議院議長

24年度 歳出総額 200億2889万4千円

(前年より9億2584万3千円減)

額でも黒字決算



予算は正しく
使われたか。

(単位：千円)

会 計 名			歳 入 額	歳 出 額	歳入歳出差引残額
一 般 会 計			13,800,586	12,712,497	1,088,089
特 別 会 計	国民健康保険事業		2,324,976	2,225,356	99,620
	介護保険事業		2,256,722	2,240,787	15,935
	後期高齢者医療事業		230,687	230,161	526
	簡易水道事業		396,646	391,334	5,312
	公共下水道事業		941,117	934,130	6,987
	集落排水事業		362,759	359,534	3,225
	温泉事業		31,921	29,802	2,119
	農林漁業体験実習館事業		26,479	26,479	0
	宅地造成事業		95,897	95,897	0
事 業 会 計	上水道事業	収益の収支	281,299	280,983	316
		資本の収支	4,563	118,959	▲114,396
	国民健康 保険事業 病院事業	収益の収支	302,137	307,437	▲5,300
		資本の収支	12,625	75,538	▲62,913
合 計			21,068,414	20,028,894	1,039,520

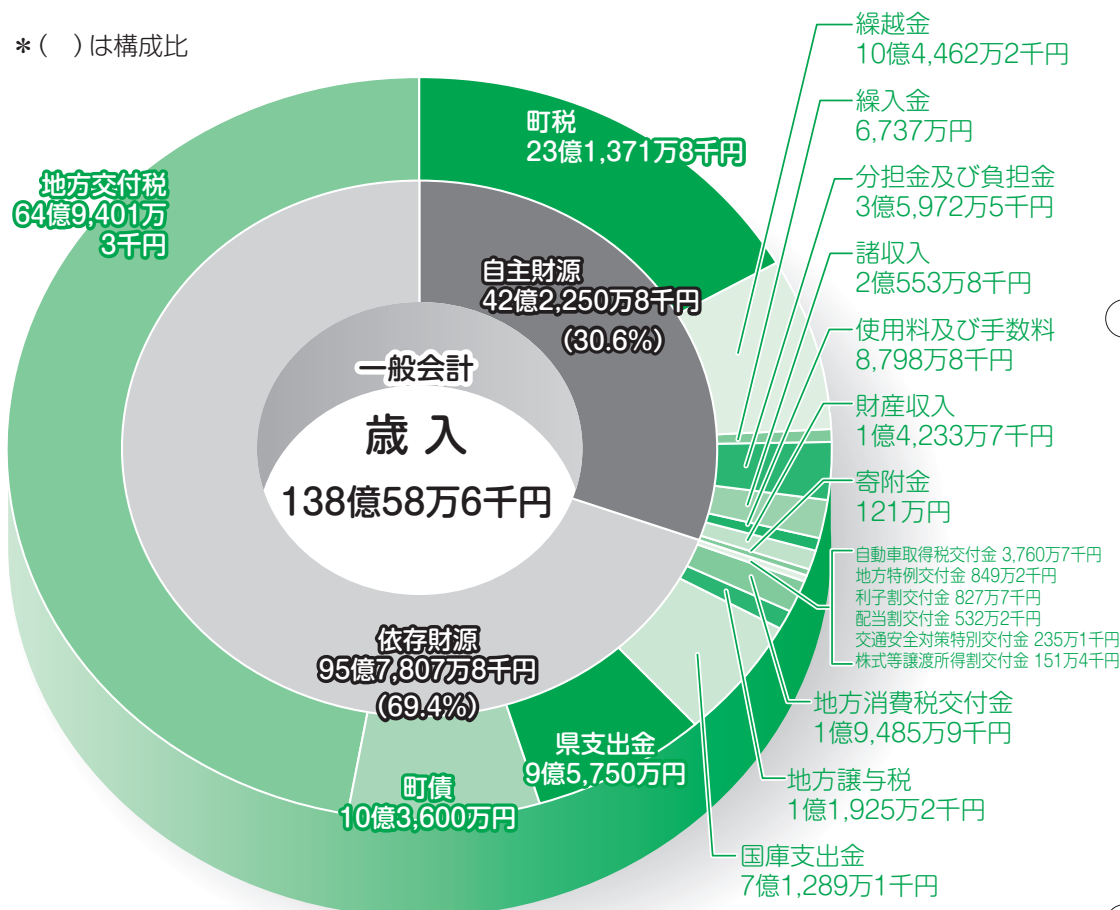
24年度 歳入総額 210億6841万4千円

(前年より11億955万5千円減)

24年度
決算

歳入総額減

* () は構成比



検証してこそ
未来に生きる！

こんな質問をしました

問 越前サブコミュニティセンターの将来の方向性は。

答 緊急性の高い、外壁等の修理は行ってきたが、耐震については対応していない。年間700万円ほどの経費がかかっているため、耐震の問題も含め検討委員会を立ち上げ、サブコミュニティセンターの在り方について検討していく。

問 人間ドックの指定機関に丹南病院を入れてはどうか。

答 昨年、人間ドックに関するアンケートをしたところ、丹南病院を入れて欲しい希望があった。26年度当初における指定機関とできるよう検討するとともに、また健康増進のために一つでも多くの病院と契約し、健康増進に努めていく。

問 水域環境保全創造事業（海底耕耘）実施効果と今後の計画は。

答 効果については、気候条件、出漁日数にもよるが、第3漁場でのセ

イコガニについては、43%水揚げが上がっている。

問 今後、平成36年度までの長期計画で実施していく。

答 町営住宅は相当年数があるが、耐震については問題がないのか。処分しはどうか。

問 昭和30年代、40年代の木造住宅は当然不適格ということになる。そこに住んでいる方に移転をお願いしている。退去完了後、速やかに解体するように考えている。

答 水道使用料滞納者への対応は。未納者には督促状を出し、それで入らない場合は、役場で納入相談を行っている。それでも未納の者については、給水停止を行っている。

問 学校給食センターは既に26年から35年経過し、建物は老朽化している。給食センターを統合する計画等について何か考えがあるのか。

答 平成26年度に検討委員会を設置して、学校給食センターの今後のあり方を検討していく。

人質問

町政を問う!



笠原 秀樹 議員

町政を問う

笠原 秀樹 議員

かれい崎荘廃業後の観光振興は

笠原

平成26年3月で廃業の方針が発表されたかれい崎荘。41年間で56万6千人の人たちに利用されてきた施設がなくなることは、観光客の減少になると思われる。今後の観光振興の対策はどうなるのか。

町長

施設の老朽化、耐震補強工事に多額の費用を要し、客室にトイレがないな



営業を終了するかれい崎荘

ど観光客のニーズに合わなくなっている状況を踏まえ、廃止を決断した。

今後、検討委員会を立ち上げ、これまでかれい崎荘が果たしてきた役割を超えるような活用を図ってきたい。

国道305号ホノケ山トンネルの開通で越前町へのアクセスルートが増えたことや、舞鶴若狭自動車道の全線開通などを視野に入れ、観光客のニーズや動向を踏まえ、観光協会と連携する新たな推進母体を構築し、観光客の受け

入れ体制の強化を図っていく。

また、観光振興を考える上で①観光資源の魅力の向上②観光資源のネットワーク化の推進③農山漁村を活用した新たな誘客戦略の展開を目指していく。

ルートリズムなどの体験型観光による誘客、食文化や田舎での暮らしを取り入れた宿泊体験型リズムによる観光誘客を図る。

いずれにしても、越前ブランドと言われる越前ガニ、越前水仙、越前焼を全国へ発信し、観光客誘致に努力していく。

教員の長時間労働に対する対策は

笠原

教員の三人に一人が過労死の危険があり、月80時間の時間外勤務をしているとの調査結果が出ているが、越前町の現状と今後の対策は。

教育長

小学校の場合、担任の先生方は、子供たちが学校の中にいる間は、常に子供たちに寄り添う状態が続き、休み時間などには提出物の丸つけ、連絡帳や日記帳へのコメント書き、

生徒指導などに費やされている。下校後も校務分掌の処理や翌日の授業の準備、家庭との連絡、校内の会議や研修会等が行われている。

中学校の場合は、勤務時間終了間際から部活動指導、翌日の授業の準備や校務分掌の処理を行い、毎日2、3時間の時間外勤務を余儀なくされている。それでも消化し切れないため、土、日も出勤して仕事や部活動をこなしている。全日本教職員組合が今日の勤務実態を明らかにするために実施した調査

によると、平日の1カ月の時間外勤務が56時間42分であったと報告されている。教職員の職務の多忙化が勤務時間の増加として現れている。その要因として、第1に新指導要領の完全実施、第2にさまざまな教育改革や山積する教育課題、第3に教員の職務の特殊性と求められる資質や能力の拡大、第4に子供たちのために労力や時間を惜しまずに職務に当たる傾向にあることが挙げられる。

このため、学校では時間外勤務短縮に校内会議や校務分担等で工夫改善を行い、町教育委員会では、①調査・報告等の見直し②会議や研修会の厳選と開催時期の変更③学校に、生活支援員、複式解消のための講師、低学年サポーター、スクールカウンセラー等の配置等を行い、教職員の負担軽減を図っている。今後も更なる改善のために、教員自身の時間外勤務縮減の意識を高め、その要因の探求と改善に積極的に取り組んでいく。



山本 清道 議員

町長が考えるおもてなしの政策とは

山本

56年ぶり日本での夏季五輪開催。滝川クリステルさんの「おもてなし」という言葉が日本への信頼と期待につながり、招致成功の要素となったとすれば、越前町でも町民はもとより町外の人に対して、誰もが住み続ける、住んでよかったと実感できるまちづくりを進めるうえで、おもてなしを政策の柱として考慮すべきではないかと考える。

そこで、町長のおもてなしに対する所見及び政策の中にどのような取り入れるのか伺う。

町長

「おもてなし」のこころは、日本人なら誰もが持ち合わせている心遣いであり、日本の文化として根付いているものであると思う。行政においては、福祉や教育をはじめ、道路や上下

水道などのインフラ整備を含めてすべての行政サービスの基礎となるのがおもてなしである。私を始め職員には、町民や役場に求められる全てのお客様に對しておもてなしの心で接するよう意識付けを行いついていく。

具体的には、高齢者福祉、子育て支援、健康づくり、産業の活性化対策の充実等施策に積極的に取り組み、暮らしやすい生活環境を確保することで本町のイメージアップを図り、まちの魅力や情報発信を強化していくことが、町民に對しておもてなしにつながるものと考えている。

また、越前町を訪れる人には、観光ボランティアガイドの協力や全国大会規模のホッケー競技の開催で培ったおもてなしの心でお迎えし、町民の皆さんと一体となって越前町にかかわる全ての人に満足いただけるまちづくりに取り組んでいきたい。

工業用地の利用状況はどうなっている

山本

魅力ある越前町創設のためには、安定した将来性を見出せる雇用と税収増への展望が必要ではないかと考えるが、工業用地の利用面積について、また既存企業の事業拡張と雇用増への要請について、町長の見解を伺う。

町長

合併前に旧町村で造成した工業団地としては5ヶ所あり、そのうち会社が存続しているのは3ヶ所、企業が撤退した工業団地は2ヶ所。朝日南部工業団地は、現在企業の誘致に取り組んでおり、織田地区の下河原工業団地については、地権者にお返しする方向で話を進めている。

既存企業の事業拡張と雇用増への要請については、一部の企業はコスト面で工場を集約したり、また労働力が安価なため生産の

拠点を海外に求めていると思われるが、町としては、事業拡張に意欲が出るような施策を打ち出すため、企業が今何を求めているかなど情報把握を含め、意見交換を行い、町内からの雇用の確保を要請していきたい。



下河原工業団地（福井部品跡地） ↓



朝日南部工業団地

人質問

町政を問う!



伊部 良美 議員

町政を問う

伊部 良美 議員

合併自治体への新支援

伊部

平成大合併により市町村の姿が大きく様変わりし、地域の実情を踏まえ、より住民自治を強化するために、支所機能を適切に活用する等の取り組みが継続的に進めることができるようにする必要があります。

このような観点から市町村合併による行政区域の広域化を踏まえ、市町村の安定した財政運営を可能にするとともに、財政措置を講ずる必要があるのではないかと判断されてきたものと思う。そういった意味からも、平成の大合併で誕生した自治体を支援するため、2014年度から役所の支所数に応じて地方交付税を加算し、交付税の算定の見直しの方向性について3つの課題を対象にして検討を行っているように伺う。

1つは支所に要する経

費の算定、2つ目は人口密度等による需要の割り増し、3つ目はその他とあるが、本町としてできる限り優位に運ぶためにも現在の町の機関が一部支援策に充当し、対象に値するかと考えられるが、町長の所見を伺う。

町長

現在、国では合併自治体に対する新たな財源対策として、合併自治体に特有な財政需要の実績を踏まえた合併算定替終了後の地方交付税の算定の見直し、具体的には、支所に要する経費の算定や人口密度などによる需要の割り増しなどの見直しが検討されており、自治体の組織の編成に当たっては、自治体の事務及び事業の運営が簡素かつ効率的なものとなるよう十分配慮しなければならぬ。

したがって、本町の組織の充実についても、国にお

て検討されている見直しの方向性や内容を注視しつつ、現在の組織の課題を整理しながら、本町のまちづ

海底のゴミ処分はどうなっている

伊部

網に入った海底のゴミは年々ふえ続け、仕分け作業に時間がかかり、その上、処分費用にも負担を強いられ、漁師は頭を悩ませて

いる状態である。さらに、大規模な災害によりごみ等が漁場へ流れ集まることは、十分に推測され、漁師に与える負担には肉体的にも精神的にも著しいものかと思われる。

漁師の涙ぐましい平素の努力に報いるために、ごみ処理の対策を講じる考えにならないか、町長の所見を伺う。

町長

漁業者による海底、海中からのごみの収集処分

くりを進めていく上で必要に応じて行いたいと考えている。

については、現在、越前町漁業協同組合が事業主体となつて、浅海漁場改善事業により県、町、漁協がそれぞれの経費負担で事業を行っている。平成24年度の実績は、処分量は513.2立方メートルであり、総事業費501万4千円に對し、県、町及び漁協の負担分は360万で、残り141万4千円が漁業者負担金額となっている。

このような中、漁業者からの負担軽減に対する強い要望を受けて、県と町、漁協が協議し、平成25年度の予算措置では、県、町、漁協の負担分を昨年より95万円増額して455万円とし、漁業者負担の軽減を図っている。

また、台風等による流出ごみ等が漁場へ流れて集まることは、十分に懸念され

るところであり、また日本海においては、近隣の国から流出されるごみ類が堆積されているという実情もある。こうした処理については、沿岸自治体が単独で取り組むべき内容でもないと思われるので、県とともに積極的に国に要望していきたいと思つている。

具体的には、現在実施している水域環境保全事業の、いわゆる海底耕うん事業での海底清掃作業が可能かどうか。また、漁期中での海底清掃の事業化が可能かどうかなど関係機関と協議し、国に対して強く働きかけていきたいと思つている。



海底のゴミ (大樟漁港)



佐々木 一郎 議員

消費税増税による町財政への効果は

佐々木

平成26年4月から消費税率が3%アップすることにより平成26年度分の地方消費税交付金はいかほどになるか。また、その使道については、介護給付費、医療費の財源に、また福祉サービスの充実に充てられると思うが、項目ごとの金額等について伺う。

町長

地方消費税交付金は1億6千万円程度の増収、現行の消費税率による収入見込み額と合わせ、3億5千万円程度が見込まれる。

引き上げ分の地方消費税については、年金、医療、介護の社会保障給付、少子化対策の施策に要する経費の社会保障4経費と、社会福祉、社会保険及び保健衛生に関する社会保障施策経費に充てるもの

とされ、全て社会保障財源化されることになるが、現時点では、それぞれに充てられる金額について、答えられる状況ではない。

法律にのっとり、社会保障4経費と社会保障施策経費への使途を明確化し、今後も見込まれるこれらの財政需要の増大に備え、財政運営に活かしていく。

佐々木

少子化対策の施策として、子育ての環境整備で公立保育所や児童館の整備拡充を図っていく考えはあるか。

副町長

公立保育所等については、サービスの充実にあわせ、整備・拡充を図ってきた。朝日中央保育所と北保育所については老朽化しているため、統合保育所を整備する計画を立てているので、統合後の大規模な



統合する計画の朝日北保育所(左)と朝日中央保育所(右)

体制に耐えられるような施設と内容等について検討していく。

私立保育園の施設の整備等についても国の補助制度や町の単独補助で個々の事例にあわせて対応し、子育て環境の整備を図っていききたい。

児童館についても、保育所の統合と併せて整備をしていく計画を進めている。

地域振興券の発行を考えてはどうか

佐々木

越前町内で買い物ができる1枚千円の地域振興券を発行する考えはないか。1万円で1万1千円の買い物ができるもので、商店街の活性化につながると思うので、ぜひ、検討してほしい。

町長

地域振興券は過去2回発行しており、越前町商工会と連携して実施した。商工会加盟店においての消費拡大につながったものと考えている。

商工会によると、新規の利用集客もあり、各加盟店は顧客獲得のために工夫を凝らし、消費拡大事業を展開して一定の相乗効果があつたとのこと。

いずれにしても、町として補助対象事業等の財源確保と費用対効果を総合的に判断し、商工会と慎重に協議し、実施の有無を含め、検討していきたい。



平成22年度に越前町商工会が実施したふるさと商品券



町政を問う

佐々木 一郎 議員

いっぱん質問

町政を問う!



木村 繁 議員

町政を問う

木村 繁 議員

町長のトップセールスをどう進めていくか

木村

本町には、越前ガニ、越前水仙、越前焼など全国的に知名度の高い越前ブランドを有し、他に、塩、タケノコ、竹炭、カボチャパウダーなど食を中心とした地域固有の特産物が数多くある。

このような地場産業の育成、販路拡大については行政が率先して実践していくべきと考えるが、町民のために夢の持てる政策実現にむけての対外活動や企業誘致、雇用促進活動、物品納入や物流関係など、地元業者を最大限に活用する手だてを講じることや、ネットを通じて情報発信をして、より多くの方々と交流すること。また、町内の優良企業の会長、社長とのいわゆるトップ会談をすることが重要な人間関係の構築や雇用の促進につながっていくと考えるが、町長の所見を伺う。

また、町長自身のフェイスブックの開設について伺う。

町長

特産品は越前町の大切な地域の資源と考えられ、各イベントや中京、関西、関東への出向宣伝の際にはPRのため活用している。

今後とも地域資源として考えられるものについては、充実を図っていきたい。方策として、町のホームページの充実を図り、リアルタイムでの各種情報の発信を心がけていく。

さらに、放送局や新聞社などマスメディア等を活用した情報発信が効果的であるため、各関係機関と連携し、越前町の売り込みを積極的に行いたい。特に越前ブランドと言われるものは、今後の町のPR、活性化のため前面に押し出し、全国に情報発信していきたい。

また、トップ会談については、まずは地元の既存企業を大切にし、意見交換会などを踏まえて、越前町と企業との友好信頼関係を構築していきたい。

フェイスブックについても、取り組んでいきたい。

木村

小学校で農業教育を取り入れてはどうか

小学校における農業教育については、福島県の小学校では、農業科という科目を授業に取り入れ、種まきから管理、収穫して食するという全過程を学び、農業を通じていのちを肌で感じ、作業を通じて共生や協力、思いやりの大切さを学んでほしいという方針で、平成21年度から実施されている。真夏の草とりも児童自ら行い、手間暇かけて農産物ができることを知って給食を残さなくなったなど、学んだことが毎日の生活に生かされるなどの取り組みについて、教育長の所見及び農業教育の実態と今後の方向性について伺う。

教育長

小学校には、3年生以上には総合的な学習の時間が年間70時間設けられており、栽培活動、福祉活動、情報教育、外国語活動などが行われている。総合的

な学習の狙いは、教科で学習したことを活かして、自ら課題を見つけ、判断し、よりよく問題を解決するなど、主体的、協働的に取り組む態度を育むことにある。

経験の希薄な子供たちにはいろいろな経験をさせることは大いに意義のあることであり、失敗経験が含まれていれば、学ぶことは限りなく広がり、どうしたらよいかを一人一人が考え、生きて働く力を身につけることにつながるものと考えている。

農業には、教科書に記載されている言葉や写真からの学びではなく、やって学ぶことがたくさんあり、先人の知恵に触れるとともに、多様な学びと地域の人々とのコミュニケーションを深めることができる。

また、世話をした作物を食べたときの感動や驚き、気づき等が豊かな感性を育て、高めると考える。本町の農業教育の実態は、小学校では、それぞれの学年で、または全学年混合の縦割り班と、その

形態は異なるが、花、野菜、稲、穀物などの栽培を通して、全ての学年が農業体験を行っている。

生活科、理科、総合的な学習の時間、そして、学校行事など教育課程に位置づけられた範囲の中で、子供たちは栽培活動の一連の作業を行っており、収穫したものを調理し、お世話になった方々に振る舞うなどの収穫祭も実施している。

今後の方向性として、農業活動は子供たちに多様な成長を育むすばらしい効果的なプログラムであるが、本町で教育特区の認定を受けて教科としての取り組みは、考えていない。

現在の取り組みを見直し、さらに教育的効果を高めるよう工夫改善を図っていきたい。もつと子どもたちが手をかける様、能動的な活動への転換、体験活動のねらいとその内容や学習方法を明確にした取り組みを進めていきたい。

平成25年度

越前町議会議員 視察研修報告書



「道の駅たるみず」から望む桜島

- 視察先…鹿児島県垂水市、いちき串木野市
- 日 程…平成25年11月6日(水)～8日(金) 2泊3日
- 内 容…【垂水市】

漁業体験+民泊による教育旅行の受入について
(体験型観光の視察)

【いちき串木野市】

インターネット中継を活用した議会活性化について
(議場放送設備の視察)

垂水市

研修先▼垂水市水産商工観光課・垂水市漁業協同組合

【漁業体験+民泊による教育旅行受入の取り組みについて】

垂水市は平成21年度から観光振興・地域振興・交流人口の増大を目指し、教育研修受け入れを開始した。22年度には垂水市グリーン・ツーリズム推進協議会を発足し、23年度からは民泊を開始した。現在85件の家庭が民泊受け入れに協力しており、本年度では30校、約5,000人の生徒が研修に訪れている。また、道の駅を拠点として受入家庭の充実やリーダー育成も行っている。

教育研修は、中学生1泊、高校生は2泊を基本とし、費用は1泊4～5千円+体験1千円程度を設定している。体験コースについては



垂水市漁業協同組合にて

入体制を確保していきたいとのことである。また、交流人口の拡大に伴い、受入家庭を増やすことも大きな課題であるということであった。

観光・地域振興のため、また、住民の生きがい対策のため、本取り組みについて、今後垂水市が生き残るための重要な施策と市は考えている。



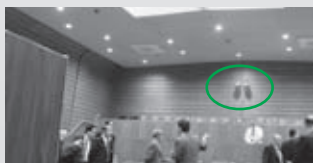
カンパチ釣り体験

いちき串木野市

研修先▼いちき串木野市議会事務局

【概要】

いちき串木野市は平成17年10月に串木野市と日置郡市来町が合併し、発足した。合併前に両市で合計38名であった議員定数を、合併時には22名に、また平成21年度には18名へと削減を行っている。



いちき串木野市議場 緑丸内が議場用カメラ



いちき串木野市議場 マイク操作機器

議会改革への主な取り組みとしては、平成21年度より一問一答方式の採用、平成25年6月に議会基本条例の制定などを行っている。

【インターネット中継を活用した議会活性化について】

鹿児島県は比較的議会中継システムの導入は積極的で、全19市中14市がすでに導入を行っている。いちき串木野市では、開かれた議会づくりの推進を目的に平成25年8月にシステムの導入を行った。

本整備により、インターネット上からは生中継にて本会議を視聴できるほか、



いちき串木野市役所にて

数日後には録画中継も視聴できる。

また、串木野庁舎および市来庁舎の各ロビーに設置したモニターテレビでも生中継を視聴することができ、インターネットを利用できない住民へも、議会への関心を高めてもらえるよう工夫されている。

◎終わりに

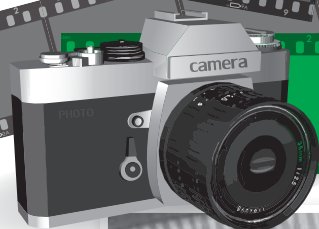
垂水市については、民宿やホテルなどがあり、ないという環境から、民泊という方向性を打ち出していた。宿泊施設が少ないという状況を、逆にチャンスと捉える意識が事業の成功につながったものと考えられる。私たちの越前町でも、従来は不利と考えられていた条件について今一度考察し、違った視点から事業を見直す工夫が、地域や観光の発展に必要であると考えている。

また、開かれた議会を目指すとした議会改革には様々な方策があるが、議会を多くの方に見ていただくことは重要である。いちき串木野市の中継はインターネットを利用される方だけでなく、庁舎内のモニターでも同様の映像が視聴できるように整備されていた。越前町においても各コミュニケーションセンターがあるので、中継の整備を検討する際には、各センターへの配信も視野に入れるべきと考える。

(10月17日～1月15日)

11月															10月																																				
16日(水)	議会広報特別委員会	17日(木)	平成25年度越前町戦没者追悼式	18日(金)	平成25年度嶺北町村議会議長会議員研修 第1回越前町企業誘致検討委員会	20日(日)	2013越前町商工祭	21日(月)	原子力発電安全対策特別委員会	22日(火)	越前陶芸村文化交流会館、悠久ロマンの杜運営協議会	23日(水)	第9回越前町町長杯ベタンク大会 長野県白馬村議会行政視察受入	24日(木)	鯖江広域衛生施設組合議会議員視察研修(25日) 泰澄の杜運営協議会	25日(金)	鯖江広域衛生施設組合議会議員視察研修(25日) 福井新聞政経懇話会10月例会	28日(月)	道の駅「越前」運営委員会	30日(水)	議会運営委員会 第4回臨時議会	31日(木)	平成25年度福井県市町議会議員合同研修会 福井県市町国民健康保険連営協議会委員等研修会 福井県丹南広域組合議会議員行政視察(1日) 福井県丹南広域組合議会議員行政視察(1日) 福井県丹南広域組合議会議員行政視察(1日) 平成25年度越前町防犯隊錬成大会	1日(金)	一般国道305号線(ホノケ山トンネル)開通式典	3日(日)	平成25年度越前町防犯隊錬成大会	4日(月)	一般国道305号線(ホノケ山トンネル)開通式典	5日(火)	議員月例会	6日(水)	平成25年度越前町議会議員視察研修	7日(木)	平成25年度越前町議会議員視察研修	8日(金)	平成25年度越前町議会議員視察研修	9日(土)	第14回全日本中学生都道府県対抗11人制フットボール選手権大会開会式	10日(日)	2013越前町国際交流フエスティバル	11日(月)	越前町社会福祉協議会「役員会」 国民宿舎かれい崎荘および日本海運営協議会 オタイコ・ヒルズおよびわづみ館運営協議会 道の駅「パークイン丹生ヶ丘」運営協議会	12日(火)	県選出国会議員への要望活動(町村議会議長会) 議会広報特別委員会	13日(水)	第57回町村議会議長全国大会/嶺北町村議会議長会議長研修	14日(木)	決算特別委員会	15日(金)	決算特別委員会

1月					12月											11月																																																																																																																																																																			
13日 (月)	12日 (日)	11日 (土)	8日 (水)	6日 (月)	27日 (金)	20日 (金)		19日 (木)	18日 (水)	16日 (月)	15日 (日)	10日 (火)	8日 (日)	6日 (金)		5日 (木)		2日 (月)	1日 (日)	28日 (木)	27日 (水)	25日 (月)	23日 (土)	21日 (木)	19日 (火)	18日 (月)	17日 (日)	16日 (土)																																																																																																																																																							
平成26年越前消防団出初式					第39回「水仙まつり」開会式					第2回越前町企業誘致検討委員会					議員月例会					仕事始め式					仕事納め式					議会広報特別委員会					議会広報特別委員会					議会運営委員会					平成25年12月越前町議会定例会					議会広報特別委員会					平成25年12月越前町議会定例会					西尾市制60周年記念式典					越前漁業協同組合業務報告					平成25年県下一斉年末特別警戒激励式(防犯隊)					議会運営委員会					県立丹生高等学校男子ホッケー部優勝・女子ホッケー部準優勝祝勝会					越前陶芸村文化交流会館運営協議会					議員月例会					平成25年度青少年健全育成大会					国民健康保険・介護保険運営協議会					福井新聞政経懇話会11月例会					第1回越前町合併10周年記念事業実行委員会					福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会					第1回越前町合併10周年記念事業実行委員会					福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会					越前町音楽祭					平成25年度丹南地区市町議会議長会議員研修会					決算特別委員会					丹南地区市長議会正副議長意見交換会					決算特別委員会					(有)おもいで屋「農林産物直売所 おもいでな」10周年感謝祭					第42回福井県壮年のつどい					平成25年度丹生高等学校同窓会総会					越前かにまつり開会式					第9回越前町議会議長杯争奪ゲートボール大会				



広報委員のカメラアイ

町内の各行事に参加した
広報委員がとらえた一コマです



水仙娘



水仙配布

水仙まつり



餅つき



消防団出初式

一斉放水



分列行進



分列行進



分列行進



成人の誓い

式典



成人式





泰澄塾直撃インタビュー
泰澄塾塾長山口賢治さんにお話を伺いました。

■泰澄塾の

発足のきっかけは？

平成元年2月に旧朝日町の地方自治セミナーがきっかけで、24名でスタートし、25年目になっています。最初は天王川美化運動、水質調査などの活動を行ってきました。

合併後の平成18年に越知山泰澄塾へ名称変更し、現在は塾員46名で活動中です。町内の塾員は8割で、町外からの参加者もおります。若返りを図るためにも、常時塾員を募集しています。

■泰澄塾の

活動について？

定期的な活動として、天王

川美化運動を4月、越知山泰澄ウォークを5月に行っており、住みよい町にするためのまちづくりの研修会など年間20日程度活動しています。

活動方針は「継続は力」で頑張っており、会員ひとり1参加を目標としています。糸生地区の応援も頂き、登山道の整備にも力を入れています。

また、泰澄大師の功績を多くの方に知ってもらうため絵本「泰澄さま」や「越知山泰澄の道」を発刊し、越前町の歴史をPRするため、全国へ発信しています。



絵本「泰澄さま」

■泰澄塾の今後

「登る・調べる・食べる」をテーマにハード面やソフト面で越前町内の観光施設と連携をして、越前町の魅力を発信して行きたいと考えています。越知山、六所山の遊歩道

整備や泰澄大師の歴史、町内の美味しい食べ物を食べて頂き、隠れた観光資源を発掘し、経済効果を生み出すための活動を行っていききたいと思っています。

■議会からひと言

越前町には、海、山、温泉、史跡などに加え、四季折々の味覚、楽しいイベント、体験施設など豊かな観光資源があります。有効的にネットワークさせた観光ルートを確立するとともに「エコ・グリーン・ブルーツーリズム」を展開し、おもてなしの精神で観光客の誘致で再び訪れたい越前町に努めていかなくてはいけないと思っていますので、泰澄塾の皆さんの活動を応援していきます。

(インタビュー 佐々木・田中)



泰澄塾長 山口賢治さん

3月議会の傍聴をしてみませんか

日程については、議会事務局にお問い合わせください。TEL 34-8712

編集後記

新年を迎え、早一ヶ月が過ぎました。一月は水仙まつり、成人式、消防団出初式と様々な行事があり、議員も出席しましたが、活気ある越前町を感じることができました。

表紙写真は、朝日小学校の児童が休み時間に雪遊びをしているところです。寒くても元気に外遊びをする様子を見てみると、やがて越前町の将来を担う子どもたちが希望を持ち、住みたくなる町づくりを進めていかなければいけないと改めて思いました。

少しでも議会活動に関心を持っていただけるように、今後とも、常に読者である町民の皆さまの視点に立つて、読みやすい「議会だより」を追及するとともに、ニーズに応じたタイムリーな情報を提供できるように努力していきたいと思っています。

なお、今回の議会開会には3月の予定です。たくさんの方の傍聴をお待ちしています。

(青柳)

議会広報特別委員会

委員長	笠原 秀樹
副委員長	伊部 良美
委員	吉村 春男
	北島 忠幸
	青柳 良彦
	齋藤 稔
	佐々木 一郎
	田中 太左衛門

表紙「議会だより」の文字を広報委員が交代で書くことになりました。町民の皆様に少しでも親しんでいたできるようにとの思いが込められています。今回は吉村委員です。

バックナンバーが町のホームページでご覧いただけます

http://www.town.echizen.fukui.jp/webworks/web/info/result.jsp?category_id=187